

ヤーマン株式会社
平成29年4月期第2四半期決算説明資料

平成28年12月14日

業績ハイライト	...	3
財務ハイライト	...	5
セグメント別売上	...	6
売上構成	...	8
第43期上半期のトピックス	...	9
第43期第3四半期以降の取り組み	...	12
業績予想	...	13

業績ハイライト

各販路で販売が好調であったことに加え、原価低減の取り組みが奏功したこと、為替の円高傾向が持続したこと、中国向けの売上が想定より前倒しで計上されたことなどにより、売上・利益ともに前年同四半期を大きく上回りました。

回次	第41期 第2四半期 平成26年5月1日～ 平成26年10月31日	第42期 第2四半期 平成27年5月1日～ 平成27年10月31日	第43期 第2四半期 平成28年5月1日～ 平成28年10月31日	【ご参考】 第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日
売上高(千円)	6,372,491	8,363,940	10,731,718	16,310,824
営業利益(千円)	87,442	618,208	2,313,338	1,028,422
営業利益率(%)	1.4	7.4	21.6	6.3
経常利益(千円)	31,014	585,102	2,319,679	1,002,211
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(千円)	17,686	344,885	1,500,296	591,524
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	3.03	59.11	263.08	101.55

【ご参考】直前期までの通期の実績との比較

回次	第40期 平成25年5月1日～ 平成26年4月30日	第41期 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 第2四半期 平成28年5月1日～ 平成28年10月31日
売上高(千円)	14,368,659	13,363,663	16,310,824	10,731,718
営業利益(千円)	373,108	647,821	1,028,422	2,313,338
営業利益率(%)	2.6	4.8	6.3	21.6
経常利益(千円)	374,141	514,718	1,002,211	2,319,679
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(千円)	219,792	311,835	591,524	1,500,296
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	37.67	53.44	101.55	263.08

財務ハイライト

在庫は直前期の期末の水準を維持。手許資金が増加していますが、第3四半期以降に計画しているブランド認知のための大型の広告投資や直販ECシステム入れ替え、新製品の研究開発、海外展開などに充てる予定です。

回次	第41期 第2四半期 平成26年10月31日	第42期 第2四半期 平成27年10月31日	第43期 第2四半期 平成28年10月31日	【ご参考】 第42期 平成28年4月30日
総資産(千円)	9,901,189	11,528,356	13,084,547	11,373,593
純資産(千円)	6,545,200	6,974,829	8,212,345	6,817,278
自己資本比率(%)	66.1	60.5	62.8%	59.9
現預金(千円)	3,764,401	5,754,499	7,576,028	5,813,824
売上債権(千円)	1,316,803	1,432,227	1,879,837	1,898,257
棚卸資産(千円)	3,261,564	2,586,214	1,816,727	1,793,573
仕入債務(千円)	1,166,052	1,274,351	1,275,327	1,194,229
有利子負債(千円)	1,258,734	1,849,023	1,344,229	1,593,538

セグメント別売上

通販部門・店販部門は前年同四半期を上回る売上となり、直販部門も堅調を維持。また、海外売上(主に中国本土)が大きく伸長しました。

回次	第41期 第2四半期 平成26年5月1日～ 平成26年10月31日	第42期 第2四半期 平成27年5月1日～ 平成27年10月31日	第43期 第2四半期 平成28年5月1日～ 平成28年10月31日	【ご参考】 第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日
通販部門(千円)	2,842,253	2,452,482	2,774,047	4,770,882
店販部門(千円)	1,528,612	2,113,761	3,126,106	4,364,668
直販部門(千円)	1,778,888	3,578,500	3,429,839	6,406,546
その他(千円)	222,737	219,196	1,401,724	768,726
合計(千円)	6,372,491	8,363,940	10,731,718	16,310,824

※その他には、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.Aなどが含まれます。

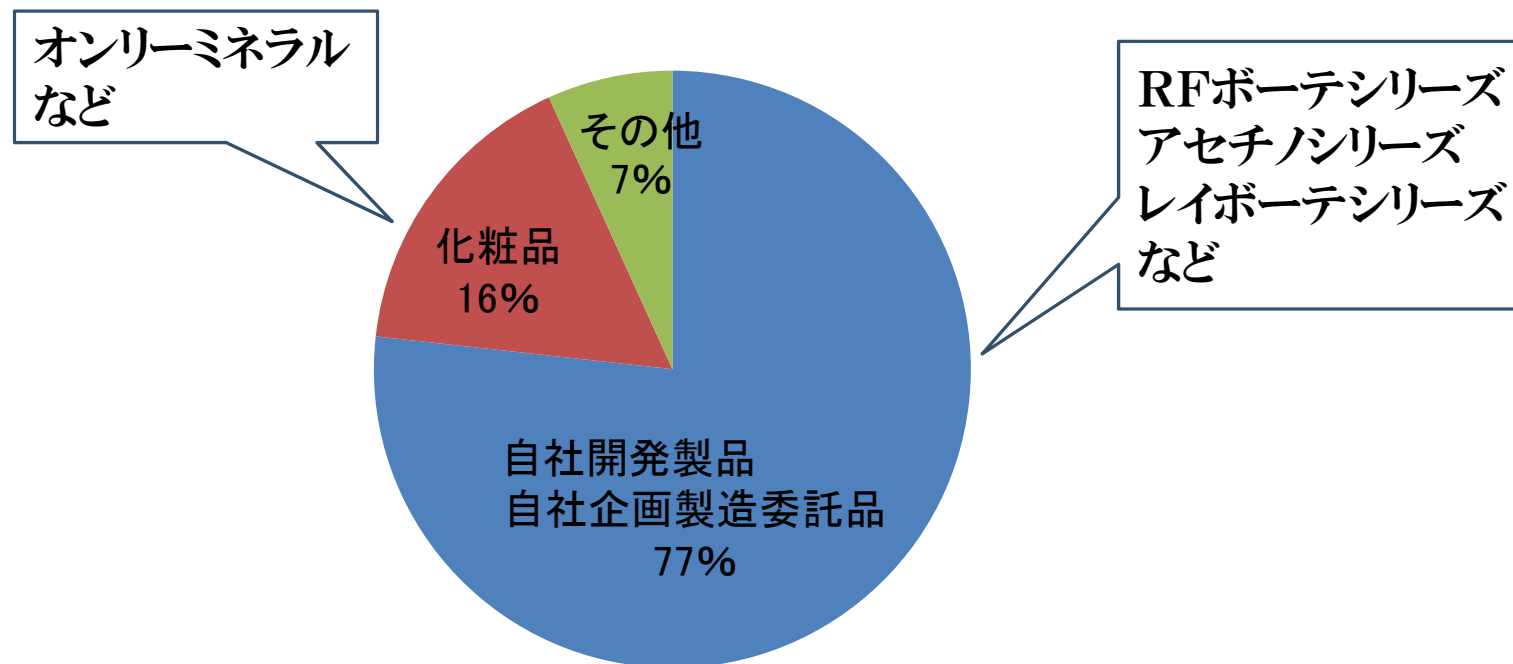
【ご参考】直前期までの通期の実績との比較

回次	第40期 平成25年5月1日～ 平成26年4月30日	第41期 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 第2四半期 平成28年5月1日～ 平成28年10月31日
通販部門(千円)	5,899,968	5,338,088	4,770,882	2,774,047
店販部門(千円)	2,707,333	3,496,485	4,364,668	3,126,106
直販部門(千円)	5,285,325	4,027,476	6,406,546	3,429,839
その他(千円)	476,031	501,613	768,726	1,401,724
合計(千円)	14,368,659	13,363,663	16,310,824	10,731,718

※その他には、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.Aなどが含まれます。

売上構成

当第2四半期の売上の構成は、自社開発製品及び自社企画製造委託品が77%、化粧品が16%、その他が7%。
自社開発製品及び自社企画製造委託品の中でも、RFボーテシリーズが特に好調で、売上を牽引しました。



第43期上半期のトピックス①

■ 平成28年8月、東京・銀座のキラリトギンザに直営店を出店いたしました。

平成28年8月13日(土)、銀座中央通りのランドマーク「キラリトギンザ」に直営店を新規出店いたしました。

直営店では、当社が扱う美容機器の中で最もハイスペックな技術を搭載したエステティックサロン専売シリーズ「ヤーマンプロフェッショナル」を中心に、既存店舗では販売していない製品も展開しているほか、丁寧なカウンセリングに基づき、お客様からのご要望やお肌のコンディション、ライフスタイルに合わせた効果的なトリートメント方法を、オーダーメイドでご提案しております。

住 所：東京都中央区銀座一丁目8-19 キラリトギンザ3階

電話番号：03-3566-6111

営業時間：11:00～20:00（キラリトギンザの営業時間に準ずる）



第43期上半期のトピックス②

■ 平成28年9月、中国本土への上陸1周年を迎えました。

当社は、平成27年9月に、販売代理店を通じて中国本土へ正式に進出し、同年12月には中国最大の越境ECサイトであるT-mall(※1)に旗艦店をオープンいたしました。T-mallでは、出店以来順調に売上を伸長させ、平成28年8月以降、美顔器カテゴリにおいて販売実績第1位(中国・GFK調べ)を獲得しております。

また、平成28年11月11日の「独身の日」(インターネット通販各社が大規模な割引セールを行う、国民的イベントとして知られる日)のイベントでは、T-mallの美顔器部門(※2)における販売実績第1位を獲得し、同時に、取扱製品が美容家電のみであるにもかかわらず、パーソナルケア部門(※3)においても販売実績第2位を獲得しております。

(※1) T-mallとは、アリババグループにより2008年に設立された、中国で最もアクセス数が多い総合オンラインショッピングモールで、多くの有名メーカーがT-mall上でオフィシャルオンラインショップを運営しています。

(※2) 美顔器部門:美顔器、美容ローラー、ボディケア美容器、脱毛器、スチーマー等を含む。

(※3) パーソナルケア部門:美顔器部門に加え、ヘアドライヤー、電動歯ブラシ、シェーバー、マッサージ器、血圧計、活動量計等を含む。

第43期上半期のトピックス③

■ 企業CMを放映いたしました。

イメージモデルを一新し、平成28年4月末から継続的に、地上波TV・交通広告などの媒体で企業CMを放映いたしました。

下半期以降も、個別の製品の広告宣伝に加え、企業全体の認知やイメージアップにも注力していく計画です。



第43期第3四半期以降の取り組み

- 上半期においては、コスト削減・社内体制の整備といった取り組みが奏功しましたが、これらを第3四半期以降も継続し、足元の体質強化に努めます。
- ヤーマンブランドの浸透を図るため、個別の製商品に対する広告宣伝に加え、ブランドを俯瞰した広告宣伝に一定金額を投資する計画です。
- 当社の最大の強みは、自社開発によりお客様のニーズにきめ細かく応えることができる点にあります。デザインを含めた研究開発活動についても積極的に経営資源を投下し、次のヒット商品につなげてまいります。

業績予想

上半期の業績を鑑み、平成28年8月15日に公表した通期の業績予想を、平成28年11月14日付で上方修正開示しております。

前期実績に対し、売上は+18.0%、営業利益は+175.8%、経常利益は+182.6%、親会社株主に帰属する当期純利益は+207.4%となる見込みです。

なお、配当につきましては、通期の利益水準を見極めながら、検討してまいります。

回次	第40期 (実績) 平成25年5月1日～ 平成26年4月30日	第41期 (実績) 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 (実績) 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 (予想) 平成28年5月1日～ 平成29年4月30日
売上高(千円)	14,368,659	13,363,663	16,310,824	19,253,991
営業利益(千円)	373,108	647,821	1,028,422	2,836,856
経常利益(千円)	374,141	514,718	1,002,211	2,832,630
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	219,792	311,835	591,524	1,818,611
1株当たり当期純利益(円)	37.67	53.44	101.55	318.90

- * 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- * 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- * 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。